

【第1回 学校運営協議会のまとめ】

令和5年6月8日実施

1 開 会

2 委員任命

3 自己紹介

4 会長、副会長の任命と選任

○会長：武藤 光政 ○副会長：羽渕 和美



5 協議と承認

- (1) 学校経営方針の承認
- (2) 学校の現状報告
- (3) 教育課程の承認
- (4) 学校行事の計画について

承認
承認
承認
承認

6 校舎見学及び授業参観



7 質疑応答（学校運営に関すること）

NO	意見及び質問事項 等	改善・対応策 等
1	・読書活動推進事業（2年間）の指定を受け、読書活動の研究推進を校区内の小学校と連携を図ることになっている。そこで、具体的な取組としてどんなことが考えられるのか。	・本の読み聞かせ団体（ハーパーズ）からの協力する意向をいただいている。有効な手段でもあるが、2年間の計画性をもって取り組ませたい。前向きに検討していく。また、あさご森の図書館の利用者が減少している現状があるので、あわせて有効な活用を検討していく。
2	・教職員の配置はできていない市内の学校であると聞かすが、朝来中学校の現状はどうですか。また、課題とかあるのでしょうか。	・現在、1名の未配置である。その業務を他の教職員でカバーしているのが現状である。また、専門の教科が配置できず免許外申請をしている教員もいる。そこで、中学校免許保有者の確保に向けて、運営委員もアンテナを高くして情報収集に努めていただきたい。

3	<p>・本年度、通常学級が2クラスになったことで、メリットやデメリットはどのようなことがありますか。</p>	<p>・人間関係を再構築するうえでは、友好的手段であると考ええる。まだ、その成果が表れるには時間を要すると思うが、好結果を期待したい。</p> <p>デメリットとしては、複数学級にすることで、教員の授業時数の増加となり負担増となる。また、教職員が増加したことにより、職員用のPCや机等といった環境整備ができていないところがある。引き続き教育委員会に要望していきたい。</p>
4	<p>・部活動が地域移行へと準備がすすめられているが、現状と対応はどのようなになっているのか。</p>	<p>・まだまだ、田舎では難しいところがある。今年度、本校では部活動指導員と外部指導者2名をお願いしている。今後、土日の部活動を指導していただける地域の人材を発掘していくことが必要である。委員の協力をあおぎながら少しずつ、段階を踏むことが必要である。</p>
5	<p>・年度末の学校評価を記入するうえで、難しいところがある。学校の取組に対する感想に終わってしまうところがある。</p>	<p>・常日頃から学校開放を行い、運営委員さんには気軽に学校に足を運んでいただけるようにする。また、学校行事に積極的に参加していただくとともに、参画を依頼していく。</p> <p>さらに、本年度の学校評価においては、各委員の目線や意見を参考にしながら、評価しやすい様式を検討していく。</p>
6	<p>・課題として、昨年度、不登校生が多いと認識している。現状はどうか。改善にむけた手立てをどのようにすればいいのか、熟議が必要である。</p>	<p>・即効性はないが、新年度になって心機一転頑張っている生徒もいる。登校にむけての刺激や学校復帰への意識改革が保護者にも必要である。地域とともに健康な生徒の育成にむけた手立てを運営委員会で熟議を重ねていくことで確認する。</p>

8 その他

(1) 第2回 11月 9日 (木) 13:30～15:00

(小6対象オープンスクール)

(2) 第3回 2月13日 (火) 13:30～15:00

(学校保健委員会と合同)

(3) 他の活動

○8月17日 (木) 夏祭り後の清掃活動

○9月 9日 (土) 体育祭

○10月 5日 (木) 文化祭 (昨年度は審査委員を依頼)

○3学期 (1月下旬～2月初旬) 3年生高校入試面接指導

9 閉会